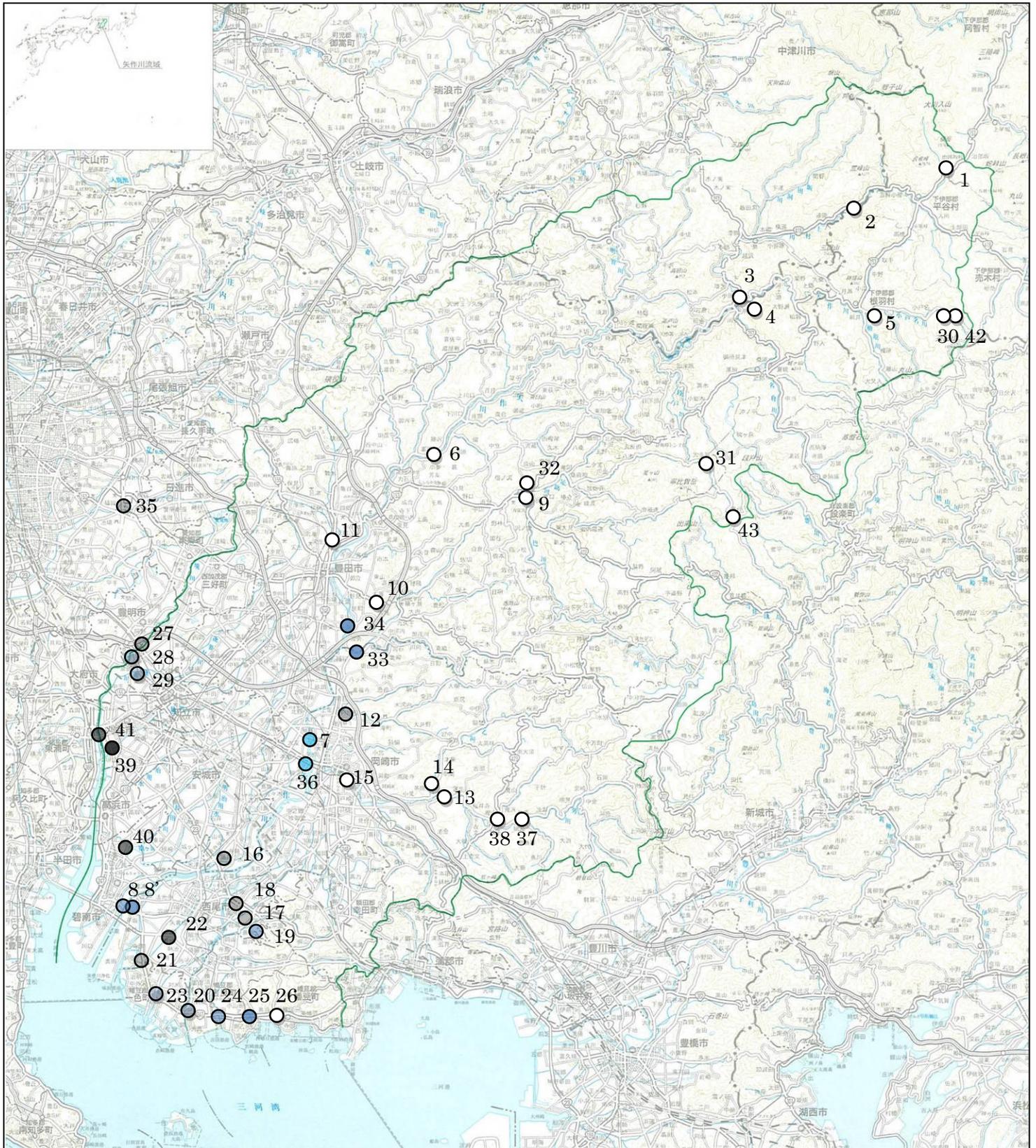


第 10 回身近な水環境の全国一斉調査結果 矢作川水系水環境マップ 2013.6.2 (AM, 晴・曇)

(実施日が違う地点 5/26 : No27、5/31 : No8、6/1 : No3・4・5・8・16・17・18・19・24・25、6/3 : No21・39・40・41)



水質 (水の濁りの指標) : 透視度 (単位 cm) 凡例

0~1 未満	1~5 未満	5~10 未満	10~20 未満	20~30 未満	30~40 未満	40~50 未満	50~60 未満	60 以上
●	●	●	○	○	○	○	○	○



【解説】簡易透視度計による透視度の測定結果

1. 概要

今回、身近な水環境の全国一斉調査にあわせ、実験的に矢作川水系独自の仕様で、透視度の測定（体験）も加えてみました。水の透視度が大人一人でも簡単に測ることができるよう、透明ホースを使ったフレキシブルな測定器です。両手を広げた幅サイズの長さの軽い測定器で、持ち運びも便利です。

2. 測定方法

- 1) 準備①：透明ホースに目盛をつけます。
- 2) 準備②：事前に、両手を使って上部開口からコルク栓十字線がはっきり見られるよう、透明ホースを真っ直ぐに馴染らし、見通せることを確認します。次に水道水をいれて見通し、測定感覚を馴染らします。真上から見て十字線がはっきり見えればOKです。
- 3) 測定①：測定は現地（野外）で測定します。開口部から採った水をアワが立ちにくいようにして十分注ぎ込みます。そしてすみやかに覗き見て、コルク栓底面の十字線が見えたときの距離をcm単位で記録します。砂泥などは速く沈殿しますので迅速に測定します。満水でも十字線が見えたときは、底面から開口部までの距離（60cm）以上と表現します。
- 測定②：十字線が見えるまで開口部から徐々に排水し、測定を繰り返します。
- 測定③：1回の測定と記録が済みましたら、それをあと2回繰り返します。（1点3回測定）

3. 結果

今回は会員参加で下記の43地点で実施しました。地図はこの透視度の測定値を9ランクに分けて流域マップに表わしたものです。今年の晩春は乏雨で例年より早かった梅雨入り後もまとまった降雨が少なく、調査時の河川流量は全般的に少ないことが特徴でした。このことは、地質・河床などの自然条件や人為的な利水による流況変化、産業や生活系の排水負荷、流下に伴う自浄作用などが水質に反映し易いと考えられました。

矢作川水系の透視度は、上流の山地部は清流で、矢作川本川中流までおよび支流は清流がほぼ保たれています。東名高速道路以東では新東名建設工事などが行なわれていますが、その付近の河川の透視度は高く保全対策の配慮が伺えます。一方、国道1号以南の下流部、三河湾沿岸は、名古屋市近郊も含めて、透視度が低い中小河川があります。本川下流および三河湾沿岸の支流は濁りの状況が所々異なっています。田植えに伴う水田排水の濁りもありました。一斉調査によって流域の水質動態が視覚化して比較でき、今後の活動に繋げることができます。ご協力頂いた会員の皆様と主催の機関に感謝を申し上げます。

表1 調査地点一覧（2013年度）

No.	河川・調査地点	No.	河川・調査地点
1	矢作川源流 柳川 源流の碑	23	一色排水路 間浜橋 一色町藤江
2	〃 上流 上村川 明治用水水源林の明林橋	24	矢崎川 吉田大橋 吉良町吉田
3	〃 上流 上村川下流（小田子地内）せきれい橋	25	鳥羽川 鳥羽橋 幡豆町鳥羽
4	〃 上流 根羽川下流（小田子地内）国界橋	26	八幡川 新後田橋 幡豆町西幡豆
5	〃 上流 根羽川上流（根羽小学校付近）平瀬橋	27	境川水系逢妻川 10K2 付近 R1 逢妻大橋
6	〃 上流 富国橋 豊田市富田町、国付町	28	境川水系境川 8K2 付近知立バイパス橋の下流
7	〃 中流 日名橋 岡崎市日名西町	29	境川水系逢妻川 7K0 付近知立バイパス橋の下流
8	〃 下流 棚尾橋 西尾市小柳町	30	根羽川上流・小戸名川、矢作川水源の森の沢
9	巴川上流 巴橋 豊田市足助、香嵐溪	31	矢作川上流 段戸川上流（地内）大橋
10	〃 下流 松平橋 豊田市松平	32	足助川下流 落合橋 豊田市足助町蔵ノ前
11	籠川 籠川橋 豊田市伊保町	33	郡界川 郡界橋 豊田市・岡崎市境（巴川合流前）
12	青木川 青木橋 岡崎市青木町	34	矢作川中流 竜宮橋 豊田市竜宮町・野見町境
13	男川 学校橋 岡崎市生平町	35	天白川水系天白川 天白大橋 名古屋市天白区平針1
14	乙川上流 築野橋 岡崎市茅原沢町	36	矢作川中流 「矢作橋」(国道1号)左岸
15	〃 下流 明代橋 岡崎市菅生町	37	男川上流 片寄の落差工
16	鹿乗川 北山橋 安城市野寺町	38	男川中流 夏山川合流地点より300m下流
17	広田川 駒場橋 安城市駒場町	39	猿渡川下流 県道296号、「巡見橋」より下流500m
18	安藤川 江原小橋 西尾市江原町	40	高浜川（油ヶ淵流末） 県道295号、「明治橋」
19	須美川 宮下橋 西尾市善明町	41	逢妻川下流 県道51号、「平成大橋」
20	矢作古川 松大橋 一色町松木島	42	根羽川上流・小戸名川、矢作川源流の碑の下流（沢）
21	北浜川 刈宿橋 西尾市刈宿町	43	段戸川上流 段戸裏谷原生林の沢（原生林の出口）
22	二の沢川 白妙橋 西尾市山下町、会館北		(注：No.8は日を変えて2回行った。)

参加実施会社一覧（順不同）

㈩大林組名古屋支店、エヌエス環境㈱名古屋支店、大伸建設㈱、木村建設㈱、太啓建設㈱、金山建設㈱、成瀬建設㈱、柴田興業㈱、
 ㈱安藤・間名古屋支店、㈱竹中土木名古屋支店、佐藤工業㈱名古屋支店、徳倉建設㈱、田中建設興業㈱、杉江建設工業㈱、
 長坂建設興業㈱、鹿島建設㈱中部支店、㈱近藤組、清水建設㈱名古屋支店、大成建設㈱名古屋支店、㈱奥村組名古屋支店、今泉建設㈱、
 内山緑地建設㈱中部支店、㈱太陽機構（計23社、小学生以下・中学生以上の学生を含む48人にご協力いただきました。）